



DMVPN イベント トレーシング

DMVPN イベント トレーシング機能は、Cisco IOS Dynamic Multipoint VPN (DMVPN) のトラブルシューティングに使用するトレース ファシリティを提供します。この機能を使用すると、DMVPN のイベント、エラー、および例外をモニタできます。実行時に、イベントトレースメカニズムによってバッファ領域にトレース情報が記録されます。表示メカニズムによりデバッグデータが抽出およびデコードされます。

DMVPN イベント トレーシング機能を使用してデバイス障害の原因を分析できます。DMVPN イベント トレーシング機能を設定すると、ルータは特定の DMVPN サブシステム コンポーネントからのメッセージをデバイスのメモリに記録します。メモリに保存されているトレースメッセージを表示したり、ファイルに保存したりすることができます。

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [DMVPN イベント トレーシングについて, 2 ページ](#)
- [DMVPN イベント トレーシングの設定方法, 2 ページ](#)
- [DMVPN イベント トレーシングの設定例, 4 ページ](#)
- [その他の参考資料, 5 ページ](#)
- [DMVPN イベント トレーシングの機能情報, 6 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、[Bug Search Tool](#) およびご使用のプラットフォームおよびソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリースの一覧については、機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

DMVPN イベント トレーシングについて

DMVPN イベント トレーシングの利点

- 実行時にコンソールでデバッグ情報を表示できます。
- 複数のデバッグ コールを回避できるため、デバイスのパフォーマンスが向上します。
- メモリ領域を節約できます。

DMVPN イベント トレーシング オプション

DMVPN イベント トレーシング機能は、イベントデータタイプの定義、イベントをキャプチャする機能の提供、ログにアクセスして変更するために必要なイベントと CLI 拡張の出力を行います。次の表に、DMVPN イベント トレーシング機能を使用してモニタできる各種オプションを示します。

表 1: DMVPN イベント トレース オプション

イベントタイプ	説明
NHRP イベント トレース	Next Hop Resolution Protocol (NHRP) プロトコル、NHRP メッセージ、NHRP データ構造での変更、NHRP NBMA またはプロトコルアドレスの変更、NHRP トラップなど、一般的な NHRP イベント。
NHRP エラー トレース	すべての NHRP エラー イベント。
NHRP 例外トレース	すべての NHRP 例外イベント。
トンネル イベント トレース	すべてのトンネル イベント。

DMVPN イベント トレーシングの設定方法

DMVPN イベント トレーシング機能は、必要なパラメータに基づいて特権 EXEC モードまたはグローバル コンフィギュレーション モードで設定できます。特権 EXEC モードまたはグローバル コンフィギュレーション モードで使用できるさまざまなパラメータについては、『Cisco IOS Security Command Reference』を参照してください。

DMVPN イベント トレーシング機能を設定するには、次のいずれかの作業を実行します。

特権 EXEC モードでの DMVPN イベント トレーシングの設定

特権 EXEC モードで DMVPN イベント トレーシングを設定するには、次の作業を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **monitorevent-tracedmvpn {nhrp {error | event | exception} | tunnel} {clear | continuous [cancel] | disable | enable | one-shot} | tunnel}**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	monitorevent-tracedmvpn {nhrp {error event exception} tunnel} {clear continuous [cancel] disable enable one-shot} tunnel} 例： Router# monitor event-trace dmvpn nhrp error enable	DMVPM トレースをモニタおよび制御します。

グローバル コンフィギュレーション モードでの DMVPN イベント トレーシングの設定

グローバル コンフィギュレーション モードで DMVPN イベント トレーシングを設定するには、次の作業を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configureterminal**
3. **monitorevent-tracedmvpn {dump-file url} {nhrp {error | event | exception} | tunnel} {disable | dump-file url | enable | size | stacktrace value}}**
4. **exit**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configureterminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	monitorevent-tracedmvpn {dump-file url {nhrp {error event exception} tunnel} {disable dump-file url enable size stacktrace value}} 例： Router (config)# monitor event-trace dmvpn nhrp error enable	DMVPM トレースをモニタおよび制御します。
ステップ 4	exit 例： Router (config)# exit	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

DMVPN イベント トレーシング の設定例

特権 EXEC モードでの DMVPN イベント トレーシング の設定例

次の例では、特権 EXEC モードで NHRP エラー トレースをモニタする方法を示します。

```
Router> enable
Router# monitor event-trace dmvpn nhrp error enable
```

グローバル コンフィギュレーション モードでの DMVPN イベントトレーシングの設定例

次の例では、グローバル コンフィギュレーション モードで NHRP エラー トレースをモニタする方法を示します。

```
Router> enable
Router# configure terminal
Router(config)# monitor event-trace dmvpn nhrp error enable
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Commands List, All Releases』
DMVPN コマンド	『Cisco IOS Security Command Reference』

標準

規格	タイトル
なし	--

MIB

MIB	MIB のリンク
なし	--

RFC

RFC	タイトル
なし	--

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカルサポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</p>

DMVPN イベント トレーシングの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 2: DMVPN イベント トレーシングの機能情報

機能名	リリース	機能情報
DMVPN イベント トレーシング	Cisco IOS XE Release 3.9S	<p>DMVPN イベント トレーシング機能は、Cisco IOS DMVPN のトラブルシューティングに使用するトレース ファシリティを提供します。この機能を使用すると、DMVPN のイベント、エラー、および例外をモニタできます。実行中は、イベント トレースメカニズムによってバッファ領域にトレース情報が記録されます。表示メカニズムによりデバッグ データが抽出およびデコードされます。</p> <p>次のコマンドが導入または変更されました。</p> <p>monitorevent-tracedmvpn、 showmonitorevent-tracedmvpn</p>

